

〔当面する課題〕

〔改善改革の方向性〕

継続的改善改革の努力

我が国の司法制度の歴史
我が国の司法制度
我が国の法文化

大規模・専門的訴訟の遅れ

裁判費用の高さ

専門紛争への対応力不足

紛争解決メカニズムの不足, アクセス不良

国民と司法との距離感

歴史的文化的背景を踏まえた実証的検討

制度的基盤の拡充

人的基盤の拡充

裁判手続等の充実強化

- 迅速化に向けた手続整備
- 専門化に向けた手続整備
- 専門家の手続関与
- 弁護士費用の透明化, 法律扶助の検討

多様な紛争解決システム

- 相談システム・ADRの整備

国民の司法参加

- 調停・司法委員等の充実
- 陪審制・参審制の検討

法曹の機能強化

- 弁護士機能の強化
- 裁判所の態勢の充実強化
- 検察の機能の充実

法曹養成の充実

- 法曹人口の増加
- 法曹養成制度の充実

裁判官任用の充実

- 法曹一元の検討

裁判の迅速化

合理的費用

専門性への対応

多様な解決方法

国民の信頼と親近感

21世紀にふさわしい国民のための司法

社会経済活動の複雑化, 科学技術の発展, 国際化, 価値観の変化 ……………